

経営比較分析表（平成30年度決算）

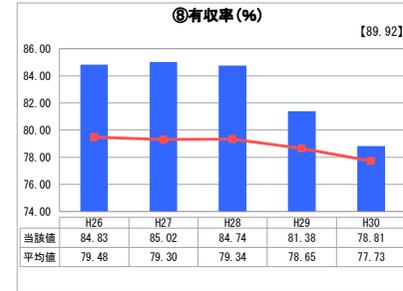
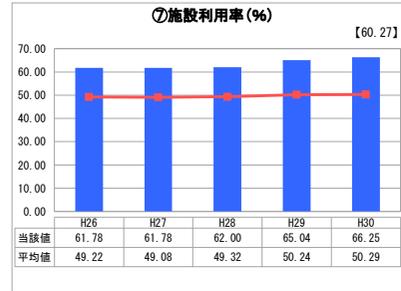
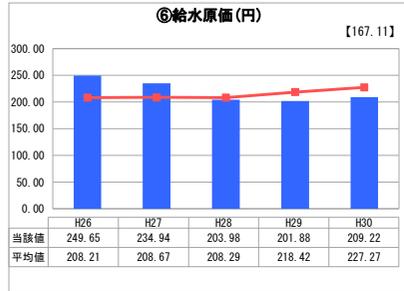
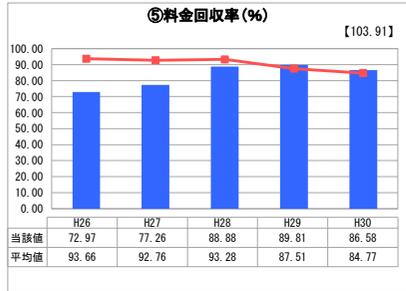
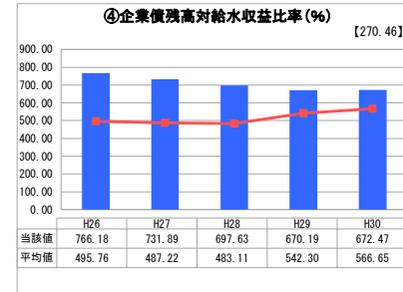
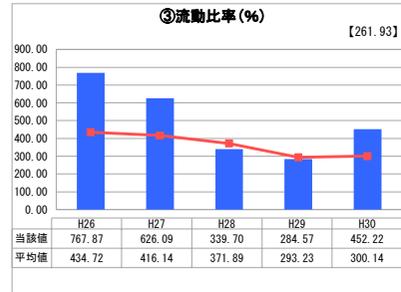
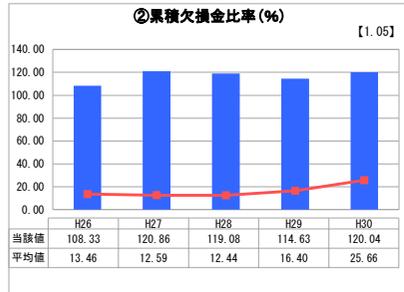
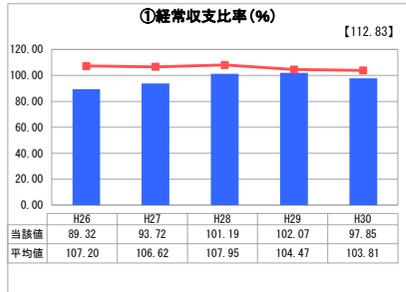
福島県 浅川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	71.94	98.82	3,510	

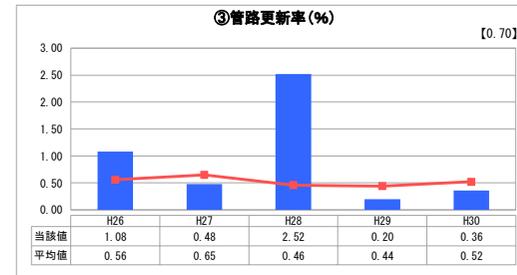
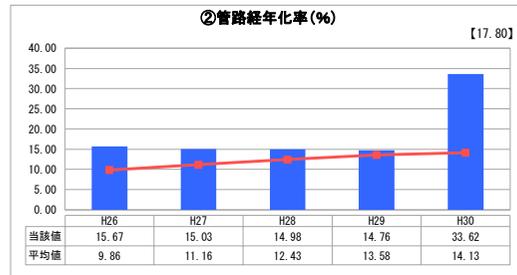
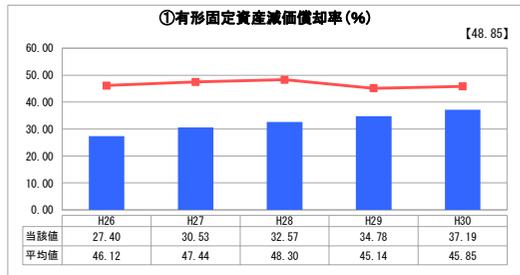
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,440	37.43	172.05
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
6,134	36.50	168.05

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は依然として平均値より低いため、経営改善に向けた取り組みが必要である。
- ②累積欠損金比率が高い数値で推移しているため、減少傾向となるよう経費削減及び収入の安定化を図る。
- ③流動比率は類似団体と比べて高いが、現金残高に注意し経営を行う必要がある。
- ④減少傾向であるが類似団体と比べて高いため、企業債に依存しすぎない経営を行う必要がある。
- ⑤数値が100%に近づくよう、料金回収率の向上に努める。
- ⑥経費削減を図るため、事業全般について見直しを行い業務改善の取り組みを継続的に進め効率化に努める。
- ⑦平均値を上回っている。現状では効率的に施設が利用されている。
- ⑧年々数値が低下している。老朽管も多いことから、漏水調査等を実施し有収率の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ①平均値より低い数値ではあるが増加傾向となっているため、施設の経過年数や耐用年数を考慮し計画的な設備更新等を行う。
- ②管路経年化率が急激に上昇した。管路更新等の対策を早急に行う必要がある。
- ③法定耐用年数を超えた管路が多いため、耐震化等も含め計画的に管路を更新し更新率の上昇に努める。

全体総括

安全・安心な水道水の供給に努め水道事業経営の健全化・効率化を実施するためにも経常経費の削減及び料金収入の安定を図り、減少傾向となっている有収率の向上に努め、各施設においては現況を的確に把握し水需要の変化等にも考慮しながら重要度、老朽化等を判断し整備の優先順位をつけ計画的に事業を進める必要がある。